

令和5年度受賞した4事例を紹介

令和5年度関東農政局土地改良事業地区等営農推進功労者表彰の受賞者が決定し、令和5年12月14日（木曜日）に表彰式を開催しました。表彰式の概要と受賞者の取組内容をご紹介します。



営農推進功労者表彰とは？

関東農政局土地改良事業地区等営農推進功労者表彰は、土地改良事業等により整備されたほ場や水利施設等の活用促進のための取組、生産技術の向上や農業経営の改善のための創意工夫によって、他の模範となり、事業及び営農の推進に貢献のあった方々（農業経営体と営農推進組織）を表彰し、その業績を広く紹介することを目的に平成3年度から実施しております。

令和5年度表彰について

令和5年度は選考委員会の審査を経て、小林花卉の小林孝之氏（国営荒川中部農業水利事業所推薦）、有限会社ちば緑耕舎（印旛沼二期農業水利事業所推薦）、白鳥フルーツ農園の白鳥勲氏（長野県推薦）、静波原基盤整備組合（静岡県推薦）が受賞しました。皆様おめでとうございます！

令和5年12月14日（木曜日）に関東農政局で開催した表彰式には、小林ご夫妻、有限会社ちば緑耕舎から杉田代表取締役、増田部長、白鳥勲氏、静波原基盤整備組合から原間ご夫妻が出席されました。表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い受賞者の皆様は授与式の雰囲気緊張した様子でしたが、参列された県、町、土地改良区等の方々からのお祝いの拍手に笑顔をのぞかせていらっしゃいました。

意見交換会では、原間組合長から「地域をま」とめてほ場整備事業を進めて行くためには、経

営状況に合わせた整備範囲の設定が重要。」、杉田代表取締役からは「できるだけ環境に負荷をかけないことで自分たちの子や孫、未来へつなぐ米作りを目指していきたい。」、さらに白鳥代表からは後進の指導のポイントは「現実味のある未来の夢をしっかりと伝えることです。」と熱い言葉をいただきました。また、小林花卉のイメージキャラクターがご息女の名前をヒントとしたエピソードに会場が明るい笑い声に包まれました。

本年度の受賞者の皆様はお花、お米、果物、お茶と様々な農産物を生産されていることから受賞者の方からは「地元ではお会することのない他の作物の生産者の話を聞きたい機会になりました。これをきっかけにもっと地域の農業を盛り上げていきたい。」との感想をいただきました。皆様本当におめでとうございます!! ご協力いただいた関係者の方々ありがとうございました!!!



小林ご夫妻



杉田代表理事(右)と増田部長(左)



白鳥勲氏(右)



原間ご夫妻

受賞者の取組内容

令和5年度の受賞者の皆様の各地区での取組内容をご紹介します。
それぞれ取り組まれている作物は、お花、お米、果物、お茶とバラエティー豊かです。
皆さんの地区での営農推進の取組の参考としてはいかがでしょうか。
取組内容の詳細は関東農政局ホームページに掲載しておりますので、こちらも御覧下さい。
〔掲載アドレス〕

<https://www.maff.go.jp/kanto/nouson/shigen/hyoushou/240116.html>



～1年を通じて花のある暮らしをお手伝い～

経営体

小林花卉 代表 小林 孝之（埼玉県深谷市）

国営かんがい排水事業「荒川中部地区」

取組のポイント

- ①土地改良事業を契機に畑かん用水を導入。
適切な水管理で花きの品質が向上。
- ②電照・シェード栽培技術の確立で周年出荷を実現。
- ③独自ブランドの展開や品種改良で他社商品と差別化。
- ④給水、温度調整等の自動システムを導入し省力化。



【経営の概要】

雇用者：6人

経営面積：1.2ha

主要作物：花き（鉢物）



『頭の良くなる花』
カランコエ

【事業概要】

地区名：荒川中部地区

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：埼玉県本庄市、深谷市、寄居町

受益面積：3,212ha

工期：平成26年度～令和7年度

事業目的：用排水改良、畑地かんがい



小林花卉のイメージキャラクター
『お花の妖精ユーミーちゃん』



～特別栽培米で農業と沼を元気にする～

推進組織

有限会社ちば緑耕舎（千葉県印旛郡栄町）

国営かんがい排水事業「印旛沼二期地区」

取組のポイント

- ①持続可能で顔の見える農業を目指し特別栽培米の販売組織を設立。事業目的である流域水質保全を推進。
- ②構成員（農業者）が特別栽培米やJAS有機米を栽培。
- ③栽培技術向上の研修会、親子農作業体験イベントを開催。



【経営の概要】

代表取締役：杉田 勉

設立年：平成10年

構成員数：7人

販売量：561t

契約面積：118ha

特別栽培米 114ha

JAS有機米 3ha

もち米（慣行栽培）1ha

【事業概要】

地区名：印旛沼二期地区

事業種：かんがい排水事業

（流域水質保全機能増進事業）

関係市町：千葉県成田市外3市2町

受益面積：5,002ha

工期：平成22年度～令和6年度

事業目的：用排水改良、区画整理
（水質保全）



稲刈り体験



農業体験ほ場



精米施設



～“りんご高密度植栽培”で収量3倍～
 経営体 白鳥フルーツ農園 代表 白鳥 勲（長野県伊那市）
 国営かんがい排水事業「伊那西部地区」

取組のポイント

- ①長野県内でいち早くりんごの高密度植栽培を導入。
 畑かん用水を活用することで、単収は慣行栽培の3倍に増加。
- ②雑草防除、土壌改良、温室効果ガス排出量削減に向けた取組として、剪定枝を炭化し樹元に施用。
- ③県の新規就農里親支援制度の里親農家として研修生を受け入れ。



【経営の概要】

従事者数：4人
 経営面積：5.0ha
 主要作物：りんご4.5ha,
 なし0.25ha,
 ぶどう0.25ha

【事業概要】

地 区 名：伊那西部地区
 事 業 種：国営施設機能保全事業
 関係市町：長野県伊那市、辰野町、箕輪町、
 南箕輪村
 受益面積：2,561ha
 工 期：平成24年度～令和3年度



自社ブランドりんごジュース



りんごの高密度植栽培



～茶園整備で課題解決、収量・品質もアップ～
 推進組織 静波原基盤整備組合（静岡県牧之原市）
 農業競争力強化基盤整備事業「静波地区」

取組のポイント

- ①小規模不整形な茶園の大区画化や園内道路、枕地の整備により、乗用型茶園管理機の導入を推進し、栽培管理の軽減や生産コストの削減を実現。
- ②農地所有適格法人を含む担い手への農地集積・集約化を推進し、農業経営の安定化を推進。
- ③全国初の茶園の農地中間管理機構関連農地整備事業を実施。
 基盤整備モデル地区として、他地区への波及推進の一翼を担う。



【経営の概要】

代 表：原岡 秀樹
 設 立 年：平成31年
 組 合 員：67人
 主要作物：茶

【事業概要】

地 区 名：静波地区
 事 業 種：農業競争力強化基盤整備事業
 農地中間管理機構関連農地整備事業
 関係市町：静岡県牧之原市
 受益面積：6.4ha
 工 期：令和元年度～ 令和3年度
 事業目的：区画整理



整備前
 （集積率14.5%）



整備後
 （集積率87.2%）

土地改良事業地区や農地耕作条件改善事業等の非公共事業地区で創意工夫を凝らし、栽培技術の向上、低コスト化、農地の集積・集約化、農業のグリーン化、担い手の育成等に取り組んでいる農家の方やその取組を推進されている組織の方がいらっしゃいましたら県、国営事業所の担当者にお声がけください。